



令和3年  
11月発行



←このQRコードから芭蕉の辻まちづくりの会のホームページがご覧になれます。

## 交差点に芭蕉の辻の名が、そして電線も地中に

仙台城から東に伸びている大町通。それと奥州街道が交わる「芭蕉の辻」が仙台の城下町の基点となつて町割（区画）がなされました。その大町通の舗装工事が行われる

ことに合わせて、あの頃の賑わいをみんなで作っていかうとはじまった「芭蕉の辻まちづくりの会」。青葉区役所の方たちと会議を重ねています。その中で、「芭蕉の辻」の知名度を上げようと交差点の信号に「芭蕉の辻」の銘板をつけていただきました。

また、歴史的な意味のある交差点なので、写真に見えるような沢山の電線を地中に埋設する工事が行われることが決まりました。その工事はもうちょっと先になります

が、電線が無くなると空が広くなくなりますね。ショッピングだけでなく、まちあるきしながら、城下町をイメージできるそんな通りになると楽しいですね。



## 楽しい歴史勉強会開催中！



芭蕉の辻をよく知るためには、城下町が形成された江戸時代から学ばなければいけません。でも、難しい話は、イヤですね。

そこで、ブラキムラこと木村浩二さんと仙台市史編纂にも関わっていた

## 仙台七夕 短冊通り

毎年恒例の仙台七夕では、商店街にたくさんの美しい七夕飾りが並びます。それならば、芭蕉の辻にも七夕飾りを！という思いから、はじまつたのが短冊飾りを並べた短冊通りです。



市民の皆さんや近隣の小学校の児童のみなさんの願いを込めた短冊

菅野正道さんに講師を依頼して楽しく学ぶ歴史講演会を年2回開催しています。今年春は「四ッ谷用水」と題して、仙台城下の飲み水や上下水について学びました。通算7回目となる本日は「仙台城下の食事情」と題して江戸の食事にまつわるお話をお聞きします。

を集めた可愛らしい短冊飾りが3年前から芭蕉の辻にサラサラと美しい色彩を与えています。通るのが楽しい芭蕉の辻になるよう季節に応じた試みをしていきます。

## コラボ商品ができました

芭蕉の辻をテーマにしたお菓子があつたらいね。そんな思いを芭蕉の辻のすぐ近くに本社を構える井ヶ田製茶(株)さんが叶えてくれました。ずんだ味といちご味が楽しめる

仙臺サンドです。おみやげにご利用ください。



『賛助会員を募集しています』

仙台のまちに活気を生み出す芭蕉の辻にしていきたいと思います。ぜひ賛助会員となつてご協力をお願いします。詳しくはHPをご覧ください。